

教育懇談会を開催しました

11月10日に、昼生小学校教育懇談会を開催しました。

PTA から市への施設設備に係る予算要望について説明の後、講演会を開きました。講師に宮崎つた子さん（三重県立看護大学 小児看護学教授）をお迎えし、「子どもの成長発達と毎日の生活習慣」をテーマに、ご講演いただきました。講演の中で、基本的生活習慣について、次のように教えていただきました。

- ①基本的生活習慣（食事・排泄・睡眠・清潔など）は、心身の健康な発達の基盤となる。
- ②基本的生活習慣と心身の状態には関連がある。
- ③学童期の生活習慣は、親の管理下から子ども自身のコントロール下になるために乱れがちなので、大人の見守りや確認（言葉にせず、目で）が必要である。
- ④夜更かしは「幸せホルモン（セロトニン）」の働きを低下させる。

また、基本的生活習慣の確立を土台として、自己肯定感や自己効力感を育むことで、子どもたちはやる気を出したり、がんばる意欲を持ったりするそうです。それには、周りの大人の肯定的なフィードバックが必要とのことでした。

今回の教育懇談会で、子どもたちに育てておきたいことは何かを学校・家庭・地域で共有することができました。今後もそれぞれの立場で、子どもたちに働きかけていきたいと思います。

当日、ご参加いただきました保護者や学校運営協議会委員の方々、ありがとうございました。尚、例年は地域の方々にも参加のご案内をしておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のために、参加者を保護者と学校運営協議会委員の方に限らせていただきました。





授業参観 ありがとうございます

11月10日5限目に、授業参観を行いました。お子さんの様子や授業の様子はいかがだったでしょうか。

普段、おうちで学校の学習について、お子さんとお話されることがありますか。国語や算数については、毎日宿題を見てもらっているの、どんなことをしているかよくわかっていただいているのではないのでしょうか。「今、社会科でどんなことを勉強しているの?」「今日習った英語、教えて」などと、他の教科についても時々話題にさせていただくと嬉しく思います。

当日は、5年生のもち米販売にご協力いただき、ありがとうございました。



1年 国語



2年 国語



3年 学活



4年 総合



5年 総合



6年 道徳

認知症サポーター養成講座を受講しました

11月5日、亀山市社会福祉協議会 地域包括ケア推進係の方にお越しいただき、6年生が、認知症サポーター養成講座を受講しました。認知症について説明を聞き、認知症の方への対応について考え、話し合いました。

子どもたちは、昼生地区の高齢化率は37%で、三重県(29.7%)や亀山市(25.9%)と比べると高いことを知り、近くに認知症の方がいるかもしれないと感じたようでした。そして、困っている人がいたら声をかけたり、手助けしたりできるようになりたいと考える子が多くいました。認知症サポーターとして、地域の中で活躍できると嬉しいです。



道で、きよろきよろしながら困った様子のおばあさんがいます。あなたならどうしますか。